

人が動く、国土が躍動する。

国土交通省



みなと しみず

発行

中部地方整備局
清水港湾事務所
清水港事務所
御前崎港事務所
下田港事務所

御前崎港「多目的国際ターミナル」供用開始



「御前崎港多目的国際ターミナル」が完成し、1月31日に中部地方整備局と静岡県が主催して、御前崎港西ふ頭において供用開始式典を行いました。

新しいターミナルは、水深14m耐震強化岸壁1バース280m、コンテナ船も対応可能となるガントリークレーン2基を設置し、ヤード面積4.6ha、改正SOLAS条約に対応した保安施設も設置した施設となっています。

式典では、石川嘉延静岡県知事の主催者挨拶、鬼頭平三港湾局長の挨拶に続き、ご来賓

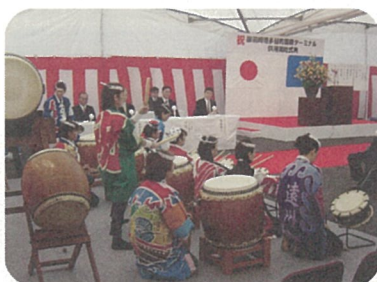
の皆様から、「港湾のハブ機能が他のアジア諸国に奪われてきている中で、御前崎港を中心に陸海空を結んだ物流集積基地ができた」（原田令嗣衆議院議員）、「昨年6月の清水港新興津コンテナターミナルに続き、今日は御前崎港と順調に港湾の整備が進んでおり、道路との連携とも合わせて総合的な港湾機能が発揮される」（柳澤伯夫衆議院議員）、「かつて運輸省在職当時にはこのような荒海のところに港が造れるのだろうかと思ったものだが、今日この場に臨み、これからもより多くの貨物や人が集まるような港となることを大いに期待している」（泉信也参議院議員）、「こんなに早く立派な港をつくっていただいた。後は荷主ががんばって使っていく番。」（鈴木修スズキ(株)会長）とのご祝辞をいただき、その後、



〈ご来賓、主催者によるテープカット〉

施設概要説明（片山昭清水港湾事務所長、武田晴夫御前崎港管理事務所長）、テープカットと続き、謝辞（吉村権財茂御前崎町長）、中部地方整備局長挨拶（村田進局長）をもって閉式となりました。

また、地元の皆様からは「なぶら御前太鼓」の勇壮な演奏で供用開始をお祝いしていただきました。



〈なぶら御前太鼓の演奏〉

＝伊豆地域のみなとを考える市町村長懇談会＝

2月9日熱海市「起雲閣」において静岡県伊豆地域の港湾所在市町村長と中部地方整備局による“伊豆地域のみなとを考える市町村長懇談会”を開催しました。

本懇談会は、静岡地域と伊豆地域に分けて隔年行っており、今年度は伊豆地域の熱海市、伊東市、下田市、沼津市、南伊豆町、松崎町、土肥町、賀茂村の四市三町一村の各自治体の首長のほかに土肥町が合併し(本年4月1日)伊豆市となることから伊豆市合併協議会の修善寺町長、中伊豆町長にもご出席いただきました。



中部地方整備局から梅原芳雄副局長、岡部安水港湾空港部長ほか、静岡県土木部から大津光孝港湾総室長、山田了一港湾整備室長ほかが出席いたしました。

各自治体からは、各港湾の現状及び役割、また要望や課題について報告があり、その後、伊豆市合併協議会会長(修善寺町長)からは、4月1日に合併して誕生する伊豆市の海の玄関口となる土肥港の施設拡充の協力を求める要望などがありました。



各港湾の要望、課題に対して梅原副局長から「皆さま方が平日頃から強い意志を持ってまちづくりの先頭に立ってご努力いただいていることがわかった。限られた予算のなかで、予算を確保するには、伊豆地域の港の特徴を組立てて、その中で知恵を出し合ってください」とまとめられました。

短い時間ではありましたが、活発な意見交換をしていただき、意義ある懇談会となりました。

◆ Bay'sホールがリニューアルしました！

清水港湾事務所の1階にあるBay'sホールには、清水港・御前崎港を紹介するビデオやクイズに答えて清水港、日本一周、世界一周が楽しめるゲームなどが設置されていますが、ビデオなど内容を最新のものにリニューアルしました。開館日時は月曜日から金曜日(祝日の場合は休み)の8時30分から17時までです。

新しくなった「Bay'sホール」に一度、お立ち寄りください！



〈リニューアルしたBay'sホール〉

◆ 清水港情報誌「Bay's」



清水港情報誌として当事務所が発行している情報誌「Bay's」の最新号“Bay's United”をご紹介します。

平成15年4月に静岡市と清水市が合併し、清水港は新静岡市の港として新たな時代を築いていくことになりました。清水と静岡の文化が融合し、ここだけにしかないベイ・カルチャーが発信できたら…。国内だけでなく世界にも光を放ち続ける港になったら…。そんな想いを込めて清水港を紹介しています。



2004年は下田開港150周年です

— 開港当時の雰囲気を楽しめるイベントが盛りだくさん —



下田港は、1854年ペリー来航により結ばれた日米和親条約により開港されてから今年で150年を迎えました。下田市ではこれを記念して「交流」と「教育」をメインテーマに様々なイベントを開催します。

オープニングイベントとして3月31日に「日米友好の灯」の点火式、日米和親条約調印の場所となった了仙寺において記念式典が行なわれるのを皮切りに、4月1日～9月30日にかけて「下田開国のまちあるき」として、ペリーの宝探しゲーム、港町体験ギャラリー、つるし飾りの館、踊りや語り部の館のなど、黒船来航当時の雰囲気を残す港町下田を歩いて楽しんでもらうための企画がいっぱいです。またこの期間中に「下田開港150周年記念コイン」(1ペリー)が発行されます。記念コインは1ペリー950円で販売され、食事やみやげ物店、交通機関などで1000円分の利用ができます。

5月14日～16日には第65回「黒船祭」が行われ、下田条約調印の再現劇や日米の陸海軍による市内のパレード、海上花火大会のほか、航海訓練所の帆船「日本丸」が初めて下田港に寄港し、祭りに華を添える予定になっています。

その他にも7月には海辺の自然体験を通じて海の環境を学ぶ「ネイチャースクール」、11月には国籍の異なる参加者が自国の異文化を語り伝える「異文化交流プログラム」など、今年の下田は開港150周年を祝うイベントが目白押しです。

この記念すべき年に、開国のまち下田に足を運んでみてはいかがでしょうか。



〈150周年記念コイン〉

詳しくは『下田開港150周年記念事業実行委員会ホームページ』をご覧ください。

★実行委員会のホームページアドレス <http://www.shimoda150.net/>

◆管内の主な動き

平成15年	
12.16	なかの国女性懇談会
12.17	第1回清水港再発見・再活用検討会
12.25	クルーズ文化講演会「につぼん丸」in清水港
平成16年	
1.27	第2回清水港再発見・再活用検討会
1.31	御前崎港多目的国際ターミナル供用開始式典
2.4	第3回新色彩計画策定委員会
2.9	伊豆地域のみなとを考える市町村長懇談会
2.16	客船「クリスタル・セレニティ」入港
2.26	まんなかビジョン懇談会
2.27	なかの国女性懇談会

◆みなとづくり見学会

みなとづくり見学会とは、地域コミュニケーション(広報広聴)活動の一環として、港に関する講座や港内を見学してもらい、国民の皆さんに広く、“みなと”の果たす役割を理解してもらうために行っています。

平成15年	
12.4	天竜市ふるさと友の会(清水)
平成16年	
1.14	浜岡町議会(御前崎)
1.28	陸前高田市議会議員(下田)
2.17	御前崎・島田土木事務所(御前崎)

全国共通フリーダイヤル

海とみなとの相談窓口

おおいに よくなれ みなと

0120-497-370



《受付時間》

9時～12時
13時～17時

※土・日・祝祭日を除く

- 海やみなとの利用
- 総合的な学習時間
- みなとの構想や計画
- みなとの防災
- 海洋土木技術



その他、みなとに関する事は何でもお問合せください。